

「情報処理学会会員の力を社会につなげる研究グループ」のご紹介

<http://www.ipsj.or.jp/sig/ssr/>

2016年10月09日

「情報処理学会会員の力を社会につなげる研究グループ」は、2011年12月27日に情報処理学会 Web サイトに公開された『情報処理学会教育ビジョン 2011』に記載されている、「教育に携わる諸部門とのさまざまな形での協働の推進に努めます」を実践する場として、2012年2月に立ち上げられました。「小中高の情報の授業に際して助言や補助を必要とする先生をお手伝いしたいと思ったことはありませんか？」など、問題解決のための協働の場を企画して実践するという、イベント企画型の研究グループです。

2016年度の活動

- 第5回 東大での『一般情報教育』を体験しよう 2016

日時：2016年08月01日(月)～03日(水)

場所：東京大学駒場キャンパス情報教育棟



東大での『一般情報教育』を体験しようという企画は、高校の先生から「大学でのしっかりした情報の授業を聴きたい」という声を実現したものです。2014年からは、「情報科の教員対象を対象とした教員免許更新講習を検討して欲しい」を受け、教員免許更新講習と東大での『一般情報教育』を体験しようを一体化させて取組んでいます。2016年は、延べ人数47名の参加となりました。

開催時期：8月上旬

- 第5回 情報科教員を目指す学生さんに向けてのガイダンス会 2016

日時：2016年10月02日(日)

場所：河合塾 池袋パークビル6階



高校と大学の先生のコミュニティを活用して、複数大学間にまたがって、情報科の先生になりたい学生さんを応援しようという思いを形にしたものが、情報科教員を目指す学生さんに向けてのガイダンス会です。ガイダンス会は、招待講演、先輩教諭の体験談、質疑応答を中心に構成しています。2016年は、青山学院大学、電気通信大学、早稲田大学の学生9名を含む、32名が参加しました。

開催時期：10月の第1日曜日

研究グループの活動も5年目となりました。この間、いろいろな方が、本研究グループの活動に参画することによって輪が広がり、課題解決の協働の場が形となって動き始めてきています。「情報処理学会会員の力を社会につなげる研究グループ」では、今後も、様々な声を拾い上げながら、課題をひとつずつ解決していくことで、「教育に携わる諸部門とのさまざまな形での協働の推進に努めます」を実践していく予定です。